

—Special Section on Communication
Sciences and Engineering—

We are pleased to announce the Special Section of the IEICE's journal, "Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE," to be published in April, 2014. The major part of this issue will focus on recent progress in communications and networks from scientific viewpoints. The topics are currently presented and discussed at the conferences sponsored by the technical committee on Complex Communication Sciences (CCS), which was launched in April 2011 under the NOLTA sub-society of the IEICE. The topics of interest within the scope of this Special Section include, but are not limited to,

- Fundamental (Scientific) theories for communication systems and networks :
 - Chaos, Nonlinear Dynamics, Oscillators, Synchronization, and Complex Networks ;
 - Bio-Inspired Information and Communication Technology (ICT), ICT-Inspired Biology, and Neural Networks ;
 - Distributed Algorithms, Self-Organization, Control and Optimization ;
 - Communication Theory, Coding Theory, and Theory and Techniques for Random Number Generators.
- Modeling and applications in communications systems and networks :
 - Sciences in Network Modeling, Mobility Modeling, Routing, Medium Access Control (MAC), and Physical Layer (PHY) ;
 - Distributed Networks, Ad hoc Networks, and Sensor Networks ;
 - Optical Communication, and Laser ;
 - Wireless Communications, Cognitive Radio, Resource Allocation, and Antenna and Propagation.

Papers submitted to this SS will be peer-reviewed handled by the editorial committee of the SS. The deadline for the paper submission is July 10, 2013. Prospective authors are requested to carefully follow the submission process :

- (1) Prepare the manuscript according to the guidelines described on the web page :
<http://www.nolta.ieice.org/data/authors.html>.
The LATEX style file and template file may be downloaded from the web page. Papers do not usually exceed 30 pages of an A4-sized PDF file.
- (2) Submit manuscripts through the IEICE paper submission system at :
https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx
Authors should choose "[Special-NC] Communications Sciences and Engineering" as a "Journal/Section". Do not choose "[Regular-EN]".
- (3) Send "Copyright Transfer and Page Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by E-mail, FAX or postal mail to :

Hiraku Okada,
EcoTopia Science Institute, Nagoya University
C3-1 (631), Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya-shi,
Aichi-ken 464-8603, Japan
E-mail : ccs-ss-secretary2013@mail.ieice.org
Fax : +81-52-789-3173 (please attach a cover sheet indicating the sender's name)

The article charges up to 30 pages :

One of the authors is a member of IEICE : 60,000 JPY
Otherwise : 65,000 JPY

Please send "Copyright Transfer and Article Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by July 10, 2013. We cannot start the review process without these documents, even if we receive the manuscript. For additional guidelines on manuscript preparation, please visit :

<http://www.nolta.ieice.org/data/authors.html>

Please note that if accepted, authors are requested to pay for the article charges covering partial costs of publications. These page charge cannot be waived.

[IMPORTANT NOTICE]

Both members and nonmembers of IEICE are invited to submit manuscripts. However, we recommend that authors unaffiliated with IEICE apply for membership :

<http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html>

Editorial Committee of the Special Section

• Guest Editor :

Mikio Hasegawa (Tokyo University of Science)

• Guest Associate Editors :

Masashi Aono (RIKEN)

Sergio Callegari (University of Bologna)

Song-Ju Kim (RIKEN, Korea)

Francis Lau (Hong Kong Polytechnic University)

Kenji Leibnitz (National Institute of Information and Communications Technology)

Jinhu Lu (RMIT University)

Hiroya Nakao (Tokyo Institute of Technology)

Eiji Okamoto (Nagoya Institute of Technology)

Hisa-Aki Tanaka (The University of Electro-Communications)

Yasuhiro Tsubo (RIKEN)

• Editors of NOLTA, IEICE :

Jürgen Kurths (Potsdam Institute for Climate Impact Research)

Ljiljana Trajkovic (Simon Fraser University)

• Associate Editors of NOLTA, IEICE :

Isao Tokuda (Ritsumeikan University)

Hiroyuki Torikai (Osaka University)

Michael Tse (Hong Kong Polytechnic University)

• Advisory :

Takashi Hisakado (Kyoto University)

• Secretaries of the Special Section :

Hiraku Okada (Nagoya University)

Hiroo Sekiya (Chiba University)

——人とエージェントのインタラクション特集 (和文論文誌 A) 論文募集——

人とエージェントのインタラクション特集編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の特集 (平成 26 年 6 月号) として「人とエージェントのインタラクション」を企画しました。本論文誌平成 24 年 1 月号において「人とエージェントのインタラクション」特集を企画したところ、多数の御投稿を頂きました。このことから、今回再度同じテーマによる特集を企画し、人工知能、ロボティクス、認知科学、社会心理学など、様々な分野における HAI (Human-Agent Interaction) の最新の研究論文を広く募集し、HAI の分野とともに様々な分野をより発展できればと考えております。

エージェントやロボットが身近な存在になりつつある現在、人間-エージェント間にどのようなインタラクションを設計・実装すべきかという新しい工学的課題への挑戦を目指す HAI (Human-Agent Interaction) と呼ばれる研究分野が生まれています。人の生活の場に共存するエージェントやロボットはどうあるべきか、情報提示や協同作業、コミュニケーションや日常生活の支援などの実現をどのようにしていくか等、研究すべき課題も多様性を増しています。HAI の分野と関連分野を進展させるべく、HAI 特集論文への積極的な投稿をお待ちしています。

1. 対象分野

理論的研究から実証的研究、応用システムの開発まで、HAI に関する様々な研究を広く募集します。具体的には以下のようなテーマが考えられますが、これに限定されるものではありません。

- ・エージェント/ロボットによるヒューマンインタフェース
- ・エージェント/ロボットによる対話インタフェース
- ・エージェント/ロボットを介した人間同士のコミュニケーション、ネットワークコミュニケーション
- ・エージェント/ロボットの身体性、人やエージェントによる身体的なインタラクション
- ・人とインタラクションを行うエージェント/ロボットの設計・実装方法
- ・エージェント/ロボットのアビオランス、表情、ジェスチャーの設計
- ・HAI の要素技術開発 (ユーザ状態の推定/学習, エージェントの適応/学習, エージェントの音声合成/認識等)
- ・人間とエージェント/ロボットの相互適応
- ・人間とエージェントの関係性
- ・HAI における認知科学, 社会心理学, 発達心理学
- ・HAI の応用事例など

2. 編集方針

HAI は発展途上の新しい研究分野であることから、この分野の研究を刺激し、発展させる先導的な研究成果を採録するために、前回に引き続き、信頼性よりも新規性・有効性に重点を置いた編集方針を採ります。すなわち、新規性・有効性に関しては、(1)当該論文が提案・解明しようとする具体的内容、(2)(1)が HAI の発展に対し、従来研究にないどのような新たな貢献をするのか、という研究の位置付けに関する著者自身の主張点が明確に示されていることを求めます。一方、信頼性に関しては、上のような主張点の妥当性を判断できる根拠が何らかの客観性の下に示されていれば、実験結果の一般性や十分性は厳しく求めません。

論文特集原稿募集

3. 論文の執筆と取扱い

通常の論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは 2 ページ程度で最大で 4 ページとします。詳細は「和文誌投稿のしおり」(http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html) を御覧ください。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 8 月 20 日 (火) 厳守

5. 投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。 https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

送付先:

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
FAX [03] 3433-6616, E-mail : wabun-a@ieice.org
※郵送時は、封筒に「人とエージェントのインタラクション」と朱記して下さい。

6. 問合せ先

湯浅将英 湘南工科大学工学部コンピュータ応用学科
TEL [0466] 30-0215
E-mail : yuasa@sc.shonan-it.ac.jp

7. 特集編集委員会

委員長 岡 夏樹 (京都工繊大)
副委員長 竹内勇剛 (静岡大)
編集幹事 田中貴紘 (東京農工大), 中西英之 (阪大), 湯浅将英 (湘南工科大)
編集委員 石井 裕 (岡山県立大), 尾関基行 (京都工繊大), 片上大輔 (東京工芸大), 加納政芳 (中京大), 菊池英明 (早大), 久野義徳 (埼玉大), 小松孝徳 (信州大), 寺田和憲 (岐阜大), 堂坂浩二 (秋田県立大), 中村剛士 (名工大), 西山高史 (パナソニック電工), 前田陽一郎 (福井大), 村川賀彦 (富士通研)

8. 付記

- *本特集に論文を投稿する場合、著者のうち少なくとも 1 名は電子情報通信学会の会員である必要があります。
- *採録論文数が多い場合には、一部次月以降に掲載される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

——エレクトロニクス分野における シミュレーション技術の進展特集 (和文論文誌 C) 論文募集——

エレクトロニクス分野における
シミュレーション技術の進展特集編集委員会

電子工学 (エレクトロニクス) は現代社会を支える根幹技術の一つであり、その重要性については議論を待つまでもありません。それを支える共通的な基盤技術としてシミュレーション技術があり、独創的なアイデアを容易に検証し、付加価値の高い成果へと効率良く結実させるためにも、シミュレーション技術に関する研究開発が必要不可欠となっています。そこで今回、「シミュレーション」というエレクトロニクス分野の共通的なテーマに関する最先端の研究成果を世に広め、技術立国日本の将来に資するべく、「エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の

進展特集」(平成 26 年 5 月号)の発行を企画致しました。対象分野は、各種エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術、理論、その高速化技術、マルチフィジックスシミュレーション技術、シミュレーション技術の産業、教育応用など全般としていきますので、皆様からの積極的な御投稿を期待しております。

1. 対象分野

電子工学一般(電磁波/光/熱/流体/物性など)のシミュレーション全般が対象で、トピックスを以下に示しますが、これらに限定するものではありません。

- ・エレクトロニクスシミュレーションの技術、理論
- ・エレクトロニクスシミュレーションの高速化技術、理論
- ・マルチフィジックス(複合)シミュレーション
- ・エレクトロニクスシミュレーションの産業、教育への応用

2. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文誌と同様とし、論文は刷り上がりページ数 8 ページ程度、ショートノートは 2 ページ程度とします。執筆の詳細は「電子情報通信学会和文論文誌投稿のしおり(エレクトロニクスソサイティ)」を御参照下さい。(http://www.ieice.org/jpn/shiori/es_mokuji.html)

なお、査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する場合がありますことをあらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿締切日:平成 25 年 8 月 19 日(月) 厳守

4. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

【注意】

登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification registration completion)が送付されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿(ファイルアップロード)」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。封筒には特集名を朱記して下さい。

送付先:一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内

FAX (03) 3433-6616

E-mail: wabun-c@ieice.org

5. 問合せ先

平田晃正 名古屋工業大学大学院情報工学専攻

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

TEL & FAX (052) 735-7916

E-mail: ahirata@nitech.ac.jp

6. 特集編集委員会

委員長 柏 達也(北見工大)

幹事 藤代博記(東京理科大)、平田晃正(名工大)

編集委員 大久保 寛(首都大東京)、木村秀明(NTT)、塩見英久(阪大)、須賀良介(青学大)、須原理彦(首

都大東京)、田口健治(北見工大)、千葉英利(三菱電機)、日景 隆(北大)、平野拓一(東工大)

——フォーマルアプローチ小特集

(英文論文誌 D) 論文募集——

フォーマルアプローチ小特集編集委員会

フォーマルアプローチ(形式手法・形式技法・形式理論)は、情報システムや組込みシステムの設計開発における信頼性向上の鍵となる重要な基盤です。これまで、設計対象のモデル化、要求分析と仕様記述、コード自動生成、テストと検証、保守と再利用などに関する技術と理論的知見を生み出してきました。近年の情報技術の進展に伴う対象領域の拡大に伴い、フォーマルアプローチは従来にも増して多様な分野で用いられるようになり、ますます発展しています。本小特集は、情報システムや組込みシステムの設計・運用におけるフォーマルアプローチについて、基礎理論から応用まで、幅広い研究を対象にしています。個別の対象領域に特化したケーススタディから、分野横断的な手法や理論まで、様々な方面から、フォーマルアプローチ研究に携わる若手研究者を奨励するとともに、この分野の研究が更に発展することを目指しております。奮って御投稿下さいませよう御案内申し上げます。

1. 対象分野

主な対象は以下のとおりですが、これに限らず、「情報システムや組込みシステム及びそれを取り巻く環境を定式化した上で、そのシステムの振舞いの解析や性質の導出を厳密に行い、設計・運用に関わる種々の問題の解決を図る」ことを目指した論文を広く募集します。

- ・基礎理論:システムの構造や振舞いの形式記述・検証に関する基礎理論
- ・形式技法:ソフトウェアやハードウェアを形式的に記述・検証するための技法
- ・形式ツール:モデル検査器や定理証明器など、形式手法に基づくツール
- ・応用:情報システムや組込みシステムへの形式手法の適用事例

2. 論文の執筆と取扱い

論文(一般論文)、レター、及びサーベイ論文を募集します。投稿規程等は電子情報通信学会の英文誌の規程と同じです。以下の規程を御参照下さい。“The Information for Authors”(IEICE Transactions on Information and Systems) http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html

3. 主なスケジュール

論文投稿締切 平成 25 年 7 月 17 日(水) 23:59 JST

第一回判定通知予定 平成 25 年 9 月 12 日(木)

修正締切 平成 25 年 11 月 12 日(火)

最終判定通知予定 平成 25 年 12 月 20 日(金)

発行予定 平成 26 年 5 月号

4. 投稿方法

本小特集では、電子投稿のみを受け付けます。

ステップ 1:論文を下記の Web page から投稿して下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体(TeX/Word)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx

投稿の際には以下の項目を選択して下さい。

“Type of Section (Issue)/Transactions” から “[Special ED] Formal Approach”

データ登録時点で論文原稿のアップロードができない場合、「郵送による投稿」を選択して登録を一旦完了させて下さい。論文原稿のアップロードは、登録後に送付される電子メールに記載の URL にアクセスして行って下さい。

ステップ2：仮登録後に作成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”に記入、署名し、論文投稿締切日までに下記問合せ先まで電子メールまたは郵便にてお送り下さい（電子メールが望ましいです）。

郵送の場合、封筒に『フォーマルアプローチ小特集』と記載して下さい。

5. 小特集編集委員会

委員長 磯部祥尚（産総研）

幹事 岡野浩三（阪大）、河辺義信（愛知工大）、土屋達弘（阪大）

委員 青木利晃（北陸先端大）、石川冬樹（NII）、來間啓伸（日立）、小林孝一（北陸先端大）、寺内多智弘（名大）、中村正樹（富山県立大）、蓮尾一郎（東大）

6. 問合せ先

本小特集のホームページ：

（和文）<http://staff.aist.go.jp/y-isobe/FA/index-j.html>

（英文）<http://staff.aist.go.jp/y-isobe/FA/>

磯部祥尚

〒305-8568 つくば市梅園 1-1-1 中央第2

産業技術総合研究所セキュアシステム研究部門

FAX [029] 861-5285

E-mail : fa-submit-ml@aist.go.jp

7. 注意事項

- ※論文が採録となった場合、掲載料（論文別刷代金を含む）をお支払い頂くことになります。
- ※投稿に際し、著者のうち少なくとも1名は、本学会員でなければなりません。
- ※投稿資格を満たさない著者からの御投稿は受け付けません。入会の案内は <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html> を御覧下さい。

——サイバーワールド特集

（和文論文誌 D）論文募集——

サイバーワールド特集編集委員会

誰でも、いつでも使える情報通信技術（ICT）の急速な普及により、ソーシャルメディアやオンラインショッピングなどの新たなビジネスや社会活動の枠組みが提示されるまでに至り、もはやサイバーワールドは誰も疑うことのない実体として存在しています。パソコン、スマートフォン、タブレット端末のみならず、テレビまでインターネットに接続され、ネットゲーム、ネット商取引、研究教育のサイバーインフラストラクチャ、電子政府等々といったシステムが個別に整備される段階を経て、最近では、スマートエネルギー、スマートシティ等実生活を快適に、また環境に優しいサステイナブルな社会を実現しようと、新しいネット社会が着々と構築されつつあります。一方で、サイバーテロやサイバーアタックなど国境を越えた脅威からの攻撃にさらされる社会になりました。

論文特集原稿募集

本特集（平成26年5月号）では、CG、VR等の映像生成技術、ヒューマンインタフェース技術、暗号等のセキュリティ技術、電子タグ、省電力、広帯域など新しい観点のアーキテクチャ技術、ネットワーク技術といったサイバーワールドを形成する基礎技術から、遠隔教育、ネットゲーム、ソーシャルメディア、Webサービス、あるいはそのビジネス展開といったサイバーワールド上で特定目的を達成するための応用技術まで、幅広い分野から論文を募集します。ネット社会の利便性を高め、またこれを前提にした新しいライフスタイルを人々が安心して享受するためには、ICTのみならず周辺技術、関連する知見、制度までを結集し、サイバーワールドを確固たるものとしなければなりません。ICTの発展をサイバーワールドの観点から統一的に俯瞰し、ビジネス展開も視野に入れつつ、関連分野を協調的に横断する新たな動向や相互関係、その将来を論じ、サイバーワールド研究の学際的な展望を得ることを本特集の目的とします。今後のサイバーワールドを利用者にとって真に豊かなものとする上で有効な議論を期待します。奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

以下に示す分野を原則対象としますが、これに限らず広くサイバーワールドに関する論文の積極的な御投稿をお待ちしております。一般論文として投稿される論文で特に基礎技術に関するものについては、サイバーワールドへの応用やサイバーワールドを利用したビジネス展開といった視点での考察を含めた投稿を募集します。

また一般論文に加え、ソフトウェア・ハードウェアを問わず、企業や大学・官公庁研究機関において開発や商品化がなされたシステム及びコンテンツに関する成果をまとめたシステム開発論文や、最新の成果を簡明に記した研究速報や個々の技術分野における新しい問題を提案し、問題意識の高揚と研究の活性化を狙った問題提起等のレターの投稿も積極的に受け付けます。

- ・（基礎） Computer Graphics, Virtual Reality, Mixed Reality, Augmented Reality
- ・（基礎） サイバーワールド構築のためのアーキテクチャ、フレームワーク
- ・（基礎） サイバーワールドにおけるセキュリティ技術、規約、心理的影響、法制度との関係
- ・（基礎/応用） シミュレーション、可視化、可聴化、映像・音声の相乗効果、検索技術とデータマイニング
- ・（基礎/応用） エージェント、ロボット、インタラクション、コミュニケーション
- ・（応用） 遠隔教育、ネットワークゲーム、医療応用、デジタルホーム、ITSなど、サイバーワールドの応用一般
- ・（応用） 金融、流通、製造など、Web上のサイバーワールドサービスやビジネスの創出
- ・（応用） ケータイ、センサなどを用いたサイバーワールドのシステム設計とケーススタディ
- ・（応用） ソーシャルメディア等サイバーワールドを利用・応用したシステム及びコンテンツの開発

2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がりを8ページ以内とします。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」を御参照下さい。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html

- ・査読後の再提出期間が短縮される場合があること、また採録論文数が多い場合には、一般論文として掲載される場合があ

ることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿締切日 平成 25 年 7 月 30 日 (火) 厳守

4. 投稿方法

(1) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

(2) 郵送

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト・著作権譲渡書・編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに、学会事務局に到着するように郵送して下さい。

送付先:

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-d1@ieice.org

※郵送の際は、封筒に「サイバーワールド論文特集」を朱記して下さい。

5. 特集編集委員会

委員長 原崎秀信 (NEC)

副委員長 山崎俊彦 (東大)

幹事 久保田 彰 (中大), 石川彰夫 (NICT)

委員 井原雅行 (NTT), 加藤博一 (奈良先端大), 竹内勇剛 (静岡大), 羽鳥好律 (東工大), 米倉達広 (茨城大), 岡本秀輔 (成蹊大), 宮崎慎也 (中京大), 橋本直己 (電通大)

6. 問合せ先

原崎秀信 NEC 中央研究所

TEL [044] 431-7729, FAX [044] 431-7508

E-mail: Harasaki@bq.jp.nec.com

本会発行新刊案内

IT 社会を支える ULSI 素子はどうなっているの？

新版 ULSI デバイス・プロセス技術

菅野卓雄 監修・伊藤隆司 編著
A5 判上製 定価 5,880 円(税込)

ULSI は高度情報化社会を支えるハードウェアの基幹要素あるいはそれ自体機能システムとして私たちの生活の隅々にまで入り込んでいる。情報処理速度あるいは記憶容量の飛躍的な増大要求に応えるために、ULSI を構成する技術要素は高度化・多様化し、材料としては化合物半導体、有機半導体あるいは炭素系材料等の取り込みが始まっている。本書は、シリコン集積回路技術の更なる発展及びそれを基盤とする新しい電子デバイスの将来展開を念頭に置き、ULSI デバイス・プロセスの研究開発に携わる研究者・技術者あるいは今後様々な形で関わるであろう大学院生を対象として、ULSI の基礎から体系的に理解できるように配慮し、初版本を全面的に改定し執筆されている。

《内容目次》 ULSI 概要／バイポーラデバイスの動作機構／MOS デバイスの動作機構／ULSI デバイス構造／微細加工／材料とプロセス／信頼性と検査／ULSI の新展開

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2 割引・送本費 500 円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 電子情報通信学会